

Jazz Interview vol.81

★英国を拠点に活躍する注目の女性ギタリスト & ヴォーカリスト！★ ルタ・ディ【Ruta Di】



2019年にデビューアルバム『フーリガン』をリリースし、センスが良く男勝りなギターの腕前と美しく個性的なヴォーカルで話題となった女性ギタリスト & ヴォーカリストのルタ・ディ。現在、英国ロンドンを拠点に活動中で、2022年7月には待望の2ndアルバム『イエロー・サマー』をリリースし、BBC ラジオ、Jazz FM、D'Angelico Guitars、Women In Jazz、The Voice UK 等、多くのメディアからも注目されている。

本誌「Vol.73」の巻頭特集〈“現代版”ジャズ・ミュージシャン3つの願い【Part-7】〉では、素敵な3つの願いを寄稿してくれた。このインタビューでは自身についてざっくばらんに語ってくれ、その音楽愛やギター愛が進る貴重なインタビューとなった。来日公演にも期待！

【2025年5月取材・文：鯉登正之】

★2022年にリリースした2ndアルバムで、現時点の最新作『イエロー・サマー』は、あなたのギターとヴォーカルと共に素晴らしい作品でしたね。『イエロー・サマー』はあなたのキャリアにとって、どのような作品となりましたか？

『イエロー・サマー』は私の音楽キャリアにおける大きな一歩ね。多くの扉を開いてくれたし、素晴らしいミュージシャンたちと一緒にレコーディングする機会も得られたわ。また、自分自身と自分の音楽に対する自信を深めるきっかけにもなったわ。

★弊誌「Vol.73」の巻頭特集〈“現代版”ジャズ・ミュージシャン3つの願い【Part-7】〉で、あなたは「1 新しいことを探求する勇氣。2 失敗する勇氣。3 もう一度挑戦する勇氣。」という素敵な3つの願いを寄稿してくれましたね。その3つの願いは今も変わらないですか？

間違いなく、今でも変わらず大切にしているわ。新しいことに挑戦することで人生は前に進み、私たちは成長できるの。それは音楽や芸術、科学、人間関係、内面の世界すべてに言えること。失敗を受け入れることもとても重要で、それができなければ、新しいことに挑戦すること自体が怖くなってしまうわ。決意、粘り強さ、そして、再挑戦する勇氣。この3つは、人生の多くの良いことが簡単には手に入らないからこそ、とても大切よ。

★あなたはロンドンを拠点に活動していますが、出身地や生い立ちについて聞かせて下さい。

私はリトアニアのヴィリニウスで生まれて、23歳までそこで暮らしていたの。ヴィリニウスは人口約50万人の比較的小さな街だけど、とても魅力的な場所よ。美しい旧市街があって、文化的な催しも多く、劇場、コンサート、美術館に行くのが大好きだったわ。旧市街の細い道を歩くだけでも楽しかった。子どもの頃から音楽が大好きで、母がバイオリンの先生をしていた芸術系の幼稚園と小学校に通っていたの。そこでピアノ、バイオリン、歌、民族音楽、ダンス、絵画など、様々な授業を受けて、とても楽しんでいたわ。創作活動も大好きで、友達と母の協力でミュージカルを作り、クラスで上演したこともあるのよ。

12~13歳まではピアノを続けていたけど、ある日突然、ピアノに興味を失って、絵を描くことに夢になって、画家になりたいと思ったの。文学や執筆も好きで、本を書きたいという夢もあったわ。その夢が数年続いた後、初めてギターを手に入れて、それが私のすべてを変えたのよ。すぐに上達して、先生からリトアニアの最高のギター教師の1人、スタシス・ダウギルダス先生を紹介されたの。彼は私の人生においてとても大きな存在で、今音楽を書いている理由の一つでもあるのよ。今振り返っても、作曲すること、歌うこと、バンドをリードすること、教えること、財政面や将来設計を賢く考えることなど、多くのこ



とを教えてくださいわ。14 歳から 19 歳の頃に言われたことが今でも心に残っていて、音楽のキャリアを前に進める助けになっているの。14 歳で音楽院に入って、ジャズギターを学び、その後、音楽アカデミーに進んだの。当時は自分をギタリストとしてしか見ていなくて、シンガーソングライターになるとは思っていなかったわ。23 歳でロンドンに来てから初めて歌って、曲を書くようになったのよ。

★女性のシンガー兼ギタリストは珍しいと思いますが、音楽、楽器との出会いについて聞かせて下さい。

母がバイオリンを弾いていて、家にはいつもピアノがあったの。楽譜を読めないのに母の楽譜を取り出して、ピアノで適当に弾いて、読めているふりをして遊んでいたのを覚えているわ（笑）。子ども時代から 10 代前半までは、クラシックピアノを習っていたの。13 歳の時に、学校の友達がギターを始めて、それに触発されて自分も始めてみたら、とても楽しかった。最初に覚えたコードのひとつ、Em コードを弾いて、「わあ、これすごくカッコいい美しい！」と感動したのを今でも覚えているわ。23 歳でロンドンに来てから、初めてシンガーとして活動しようと決意したのよ。なぜそんなに遅かったのかは分からないけど、それが次に進むべき自然なステップだと感じたわ。

★あなたが影響を受けたシンガーを 3 人挙げて下さい。

たくさんの素晴らしいシンガーがいて、3 人に絞るのは難しいけど…、あえて選ぶなら、スティーヴィー・ワンダー、エスペランサ・スポルディング、サラ・ヴォーン。誰かのように歌いたいというよりは、ただ素晴らしいシンガーたちを聴くのが好き。

★あなたが影響を受けたギタリストを 3 人挙げて下さい。

こちらら選ぶのが本当に難しいけど、3 人に絞るとしたらこの 3 人ね。
パット・メセニー：音、作曲、特にシンセギター時代のメロディアスなソロが大好き。
ジミ・ヘンドリックス：13~14 歳の頃、映画『ドリーマーズ』

のエンドロールで「ヘイ・ジョー」が流れていて、その時に初めて彼の音楽を聴いて衝撃を受けたわ。
ジョン・マクラフリン：10 代の頃にマハヴィシュヌ・オーケストラとシャクティを知って、インド音楽とロック、ジャズの融合に魅了されたの。時代の先を行く天才的なアーティストだと思うわ。

★あなたが影響を受けたアルバム 3 枚を挙げて下さい。

スティーヴィー・ワンダーの『キー・オブ・ライフ』
ジミ・ヘンドリックスの『アー・ユー・エクスペリエンス?』
ジョン・コルトレーンの『至上の愛』

★あなたの愛用のギターについて聞かせて下さい。

今愛用しているのはディアンジェリコ（D'Angelico）の「Deluxe SS」よ。音が温かくて、弾き心地も良くて、見た目も美しいの。

★3rd アルバムリリースの予定はありますか？ また、次作はどのようなアルバムにしたいと考えてますか？

はい！この夏、8 月に新しいアルバムをレコーディングするの！『イエロー・サマー』とは全く異なる作品になるわ。数年前に祖母が亡くなって、祖母のために曲を書こうとしたの。気持ちを表現するメロディはできたんだけど、言葉ではどうしても気持ちを伝えきれず、歌詞のないまま曲を完成させたの。すると、それがとても気に入って、声を楽器のように使う無言の曲をもっと書いてみようと思ったのよ。今回のアルバムは、そんなインストゥルメンタル・ヴォイスを使った曲が中心になるわ。ホーンセクションも加えて、様々なエフェクトにも挑戦する予定よ。



★日本を訪れたことはありますか？ また、日本のイメージについて聞かせて下さい。

日本にはまだ行ったことはないんだけど、行きたい国のトップ3に入っているわ。日本について思い浮かべるのは、礼儀正しい人々、日本のストリートファッション、速い電車、桜の季節、東京のブルーノート、アニメ、お寿司とか…。大都市の喧騒と美しい自然、その両方がある国というイメージがあるわ。

★日本の音楽や楽器に影響を受けたり、気になっている日本のミュージシャンはいますか？

正直に言うと、日本の音楽やミュージシャンについてはあまり深くは知らないけど、いくつかは知っているわ。例えば、上原ひろみさん、福居良さん、菊地雅章さんなど。今後もっと探求していきたいと思っていて、できれば日本に訪れた際に（それが近いうちに実現するといいなと願っているわ！）直接触れたいわ。

★シンガー兼ギタリストとして、一番大切にしていることは何ですか？

正直であること、そして、前に進み続けること。

★音楽以外に何か特別な趣味はありますか？

読書、演劇、美術館巡りなどが好き。最近では、ボクシングを観ることにハマっているのよ。

★あなたの夢や目標について聞かせて下さい。

これからも音楽を作り続け、演奏し続けていきたい。ミュージシャンや作曲家・ソングライターとして成長して、声やギター、様々なサウンドの新しい可能性を探っていきたいわ。興味深いアーティストとコラボレーションしながら、大切な人たちと素敵な時間を過ごして、世界を旅して、人生を楽しみたい。



★最後に、The Walker's の読者と日本のファンにメッセージをお願いします。

The Walker's の素晴らしい読者の皆さん、そして日本のファンの皆さん、こんにちは！ この夏、3枚目のアルバムのリリースに向けて準備をしている今、The Walker's のおかげで日本の音楽ファンの皆さんに自分の音楽が届くかもしれないということに、感謝とワクワクの気持ちでいっぱいだわ。

私の音楽やパフォーマンスに関心を持ってくれる方が地球の反対側にいるなんて、本当に光栄なこと。この新しいアルバムは、私自身のアーティストとしての成長を反映していて、私にインスピレーションを与えてくれた経験や物語の証でもあるの。すべての音に心と魂を込めて作ったのよ。皆さんに聴いていただける日を心から楽しみにしているわ。ロンドンから愛と祝福を込めて！

【ルタ・ディオフィシャルウェブサイト】

<https://www.rutadimusic.com/>



『イエロー・サマー』
ルタ・ディ

2022年7月発売
© 2022 Ruta Di
(Import CD)

ルタ・ディの現時点での最新& 2nd アルバム！